

『がん患者さんの治療と生活をつなぐ講演会』を
開催しました

部門紹介「外来化学療法センター」

院内美容室のご案内

地域住民講座開催のご報告

～恵佑会第2病院より～
内視鏡治療の最先端手技／技術セミナーが
開催されました

サービス付き高齢者向け住宅
『モーニング』のご案内

書籍のご案内



『がん患者さんの治療と生活をつなぐ講演会』を開催しました

手術後「食べられない」「食べたくない」などで困っている患者さんが多く、そのような患者さんやご家族に、食事の楽しさを知っていただき、ストレスを軽減させてほしいという願いから、NPO法人キャンサーリボンズに共催をいただき、8月27日(月)、『がん患者さんの治療と生活をつなぐ講演会』を開催しました。



講師には服部栄養専門学校理事長・校長の服部幸應先生と、ヘルシーライフクリエイト・リサーチ&コンサルティングの大賀英史先生をお招きしました。

はじめに、大賀先生より「がんと食事～What to eat, How to eat～」と題し、必要な栄養素やバランスの良い食事の仕方など、栄養学の面からお話していただきました。



後半は服部先生より「食事をストレスにしない」と題しご講演をいただきました。服部先生は、食生活における環境の大切さや現代の問題点などをお話しされ、最後に「どんな時でもポジティブに考え、楽しく食事をしてほしい」と患者さんにメッセージを送っていました。



左から 福田護先生(キャンサーリボンズ理事長)、岡山慶子さん(キャンサーリボンズ副理事)、服部幸應先生、大賀英史先生、細川正夫(恵佑会理事長)

参加した患者さん、ご家族は、先生方のお話に感激した様子で、笑顔で帰られる方が多くいらっしゃいました。この講演会を通して、患者さんの食事に対するストレスが少しでも解消できたならば幸いです。

部門紹介「外来化学療法センター」

化学療法とはがんに対して抗がん剤・分子標的治療薬などの薬物を使って治療を行なうことです。外来化学療法センターは、通院で抗がん剤の点滴治療を受ける患者様が利用する場所です。当院では2000年から外来で化学療法を開始しました。現在はベッドが11床で、月300件前後の治療を行なっています。

抗がん剤治療というと、辛い副作用と入院というイメージをお持ちの方が多いと思います。抗がん剤は、がん細胞を死滅させるとともに、正常な細胞も傷害させてしまうという作用(副作用)があります。しかし、現在は副作用を抑える薬剤・方法(支持療法と言います)が開発され、安全に外来での抗がん剤治療が可能になりました。このため入院する必要は無くなってきました。また、2007年に施行された「がん対策基本法」の基本計画に、すべてのがん診療連携拠点病院で外来化学療法を実施することが盛り込まれました。このような背景から現在では可能な限り外来通院で抗がん剤治療を行なうことが一般的となりました。

通院による抗がん剤治療は、自宅から病院に通いながら治療ができ、普段の生活リズムを維持しながら生活できる一方で、いつも医療者がそばにいるわけではないという不安があるかもしれません。また治療に用いる薬剤の種類や治療の予定によって副作用は異なります。ですから、初回治療時に看護スタッフが副作用と対処方法について説明を行ない、患者さんが自宅で副作用に困った時には電話相談を受けられる体制を取っています。

化学療法は多くの臨床試験によって安全性と有効性が確認された後に行なわれています。より安全に行なうために当院では化学療法委員会を定期的を開催し、がんの薬物療法専門医、各診療科医師、薬剤師、看護師、医事課から組織される委員会で、診療科を超えて議論し、協力しあうことにより、最も信頼度の高い治療を提供できる体制を作っています。

なにかお困りのことがございましたら、いつでも病院のスタッフにお声をかけてください。



院内美容室のご案内 HAIR SALON ボン・デクリック bon dé clic

9月6日(木)、院内美容室「bon dé clic (ボン・デクリック)」がオープンしました! どなたでもご利用いただけます。付添いの方も、待ち時間内にご利用いただくことができ、便利です。皆さん、お気軽にご利用ください!

ヘアサロン bon dé clic (ボン・デクリック)
営業時間: 10:00~19:00 (予約優先)
休業日: 日曜日
お問い合わせ: 011-863-2202



地域住民講座開催のご報告

恵佑会札幌病院では、患者さん、ご家族および地域の皆様を対象に、がん医療について、診断・治療を中心に、最新のトピックスを交えた公開講座を実施しております。

今年10月には25回目を迎え、延べ1900名を超える方々にご参加いただきました。

昨年11月以降に開催した講座の内容を抜粋し、以下に掲載いたしました。今後も定期的な開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

第19回 テーマ「よくわかる肺がん その2 治癒をめざして ～外科治療をわかりやすく説明します～」

2011年11月26日(土)開催 講師:呼吸器・乳腺外科 副院長 鈴木康弘

肺がんの手術療法を中心にお話ししました。

肺がんの統計、肺の構造について説明し、喫煙などの肺がんリスクや、肺がんの種類及びがんの進行度分類の詳細な解説を行い、病期やがんの種類による手術適応についてお話ししました。開胸手術や胸腔鏡手術の説明をし、手術の様子を動画でご覧いただきました。



第20回 テーマ「肝がんの診断と治療について」

2012年1月28日(土)開催 講師:消化器内科副部長 松本岳士

肝臓がんの種類・原因・症状などの概要を説明した後、血管造影・肝生検等の検査、様々な治療方法とその内容、がんの進行度による治療の選択についての説明をしました。健康診断による肝臓がんの発見は困難であり、特にB型・C型・アルコール性肝炎の患者さんは肝臓がんにかかる可能性が高いため、年1回以上は画像検査を受けて欲しいと、定期検査の重要性を説明しました。



第21回 テーマ「新しい前立腺がんの根治手術 ～ダヴィンチSを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術～」

2012年4月21日(土)開催 講師:泌尿器科 院長 平川和志

前立腺がんの治療法には手術療法、内分泌療法、化学療法などがあることを説明し、手術療法の中でもダヴィンチを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術について詳しく説明しました。ダヴィンチの特徴や、海外での症例数、トレーニングについて紹介し、普段目にする機会の少ない手術ロボットの映像に、驚きの声があがりました。



第22回 テーマ「耳鼻咽喉科領域のがんの早期診断と治療の重要性について」

2012年5月26日(土)開催 講師:耳鼻咽喉科・頭頸部外科 副院長 渡邊昭仁

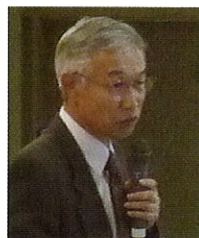
がんの診断について早期診断や治療方法、当院でのがんの診断方法などを動画も使って紹介しました。「耳鼻咽喉科領域のがんは自覚症状が出てからでは、がんが進行していることが多く、症状がなくても検査を受けることが早期発見につながる」と話し、定期的な検査の重要性について説明しました。さらに、がんの危険因子となる喫煙、飲酒など生活習慣を見直し、がんを予防することも大切だと話しました。



第23回 テーマ「放射線ってなんだろう～放射線の光と影～」

2012年6月16日(土)開催 講師:放射線画像センター所長 伊藤和夫

放射線の種類、発見、性質や人体への影響など放射線とは何かについてお話ししました。また、放射線被ばくの分類や防護、そして日常の放射線診療における医療被ばくについてなど、病気の診断やがん治療として使われる放射線の光の部分と、被ばくによる人体への影響や汚染問題など影の部分などをそれぞれ紹介しました。被ばくについては、昨年より注目されている問題でもあることから、参加された方々も大変熱心に聴講していました。



第24回 テーマ「口腔がんの治療～形態機能の温存と再建～」

2012年7月28日(土)開催 講師:歯科口腔外科部長 上田倫弘

口腔がんの種類や手術方法と、それによって起こる 噛めない、飲み込めない、話せないなどの障害について解説しました。がんの進行度やできた位置によっては、手術を行うことで口腔機能や顔の形に影響がでる場合があります。また、手術以外の方法として放射線や抗がん剤による治療を紹介し、「口の中は自分でもよく観察できる場所です。おかしいと思ったら早めの受診をおすすめします」と話していました。



第25回 テーマ「あたらしい抗がん剤のはなし～消化器がんの分子標的治療～」

2012年10月13日(土)開催 講師:腫瘍内科副部長 奥田博介

最初のがんの定義や発生のメカニズムを説明し、がんを治療する上でどのように抗がん剤が、がんに働きかけるのかを、図やグラフを使って解説しました。従来の抗がん剤とは違う最新治療である分子標的治療や、バイオマーカーに基づいた治療の個別化という難しい内容の中に、歌手や星占いなどを例えに出して、会場内では時おり笑いが起こりました。最後に、がん治療と上手に付き合うためには、医師や看護師、ソーシャルワーカーなど、病院のスタッフとよく話し合うことが大切だと述べていました。



内視鏡治療の最先端手技/技術セミナーが 開催されました

9月15日(土)、日本消化器内視鏡学会 北海道支部会主催「Sapporo Therapeutic Endoscopy Practice Seminar(STEPs)」が、恵佑会第2病院を会場とし開催されました。

当セミナーの目的は、若手医師中心により多くの医師が内視鏡治療の最先端手技や技術に触れる機会を増やすことです。当日は、道内より52名の先生方にご参加いただきました。



第1部では、佐久総合病院 胃腸科部長 小山恒男先生を講師に迎え、「Barrett食道腺癌の内視鏡診断と治療」と題し、ご講演いただきました。その後行われた質疑応答では、活発なやりとりがなされ、関心の高さが伺われました。

第2部“ハンズオントレーニング”では、若手医師を対象としたESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)等の実技指導を行いました。トレーニングでは、ブタの臓器を用いたヒトの食道、胃、大腸のモデルを使用し、内視鏡により切除しました。第2病院より、高橋副院長、小平副部長、岡原医師が実技指導に当たりました。

今後もこのようなセミナーを通して、診断・治療の技術の更なるレベルアップを目指してまいります。



恵佑会グループ サービス付き高齢者向け住宅



10月15日
オープン

随時見学受付中!

サービス付高齢者向け住宅とは

高齢者の方に最大限配慮したバリアフリー構造の賃貸住宅です。介護が必要になっても、プライバシーや自由な時間を大切にしながらそれまでの生活を継続できるようサポートいたします。

◆ 相談サービス

日常生活・医療・介護など多岐に渡り、専任の相談員が随時相談に応じます。

◆ 緊急通報サービス

全部屋に緊急通報システムを完備。365日24時間安心してお過ごしいただけます。

◆ 介護サポート

施設内にて、医療・介護サービスをご利用いただけます。

◆ 見守りサービス

専任スタッフが常時館内を見回り、安否確認をいたします。

◆ お食事の提供

献立は専任の栄養士が作成。治療食にも対応します。

※提携病院である、社会医療法人恵佑会札幌病院、第2病院との連携により、緊急時の検査・入院などもスムーズに対応いたします。通所介護、訪問介護、居宅介護支援事業所併設。訪問看護ステーション、診療所開設予定。

皆様のご利用を
お待ちしております

お問い合わせ
資料請求

電話：011-868-0001 FAX：011-868-0100

受付時間：月～金 9時～17時(土日祝除く)

住所：〒003-0026 札幌市白石区本通14丁目南5番25号

高齢者住宅 モーニング

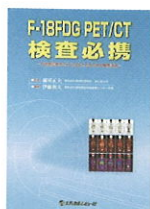
検索



「食道がん～正しい知識でより良い治療を～」(講談社)

細川正夫(理事長)監修

食道がんの正しい知識、検査の種類と方法、手術・放射線化学療法などの治療法、治療後の食事やリハビリについてなど、詳しく解説しています。



「F-18FDG PET/CT検査必携」(メディカルレビュー社)

細川正夫(理事長)監修、

伊藤和夫(放射線画像センター所長)編集

当院でのPET装置導入後15,000件近くの検査経験が一冊の本としてまとめられています。

書籍のご案内

社会医療法人 恵佑会札幌病院

理事長 細川 正夫
院長 平川 和志

■所在地 〒003-0027
札幌市白石区本通14丁目北1番1号

■電話・FAX番号 TEL 011-863-2101 (代表)
FAX 011-864-1032

■診療科目 外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、気管食道外科、
消化器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、耳鼻咽喉科、
頭頸部外科、アレルギー科(耳鼻)、泌尿器科、放射線診断科、
放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科

■病床数 一般229床(内24床緩和ケア病棟)

■併設施設 恵佑会放射線画像センター

■面会時間 平日 午後3:00～午後7:30
土日・祝日 午前10:00～午後7:30

■交通機関 地下鉄／東西線「南郷13丁目」駅下車、徒歩約7分
(3番出口より国道12号線方面へ約500メートル)

JR北海道バス／JR北海道バスターミナル
札幌駅・新札幌駅・北広島方面より
1、1-3、13、15、22、24、26、33に
ご乗車ください。
えりも・様子・浦河・静内方面より
「高速えりも号」にご乗車ください。

中央バス／地下鉄東西線白石駅バスターミナルより
34にご乗車ください。

バスはすべて「白石神社前」で下車(快速以外は停車いたします)

